

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/27】

男子7位決定戦

京都府選抜

8

1	－	2
2	－	1
3	－	1
2	－	0

4 福岡県選抜

PSO

御崎 智徳

審判：

縄井 裕平

この試合のプレー集計

京都府選抜	24	SH数	27	福岡県選抜
	5	速攻数	7	
	6	ST・SB	16	
	6	SH・P誘発アシスト	4	
	73%	GK阻止率	50%	
	6	EX反則数	10	

ST・SB: ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

前回優勝の京都はミスをどこまで改善して、年内最後の試合で納得感を出せるか。対する福岡は、ディフェンス面での成長につながるような意識の醸成を試合の場面で作り出すことができるか。双方の現状を確認、さらには改善への道筋をここで出せれば有意義な試合となるだろう。京都は攻撃時の判断とコミュニケーション、福岡はディフェンス。双方ともに、得点した後のチームプレーを大事にしてもらいたい。

【1P】

お互いに動きの少ない膠着した序盤。京都の攻撃ミスを突き、福岡③中尾がカウンター攻撃で先制点をマーク。福岡の攻撃時のミスを突いて④渡邊が中央突破、そこでペナルティを誘発して自身が決めて同点に。福岡④大野は京都が左展開攻撃になったことを見逃さずに、一人前線へ。案の定、京都は攻撃ミス。そこを独泳で④大野が決めて福岡リードで第1ピリオド終了(京都1-2福岡)。福岡④大野の状況判断の良さ、それへの対応不足の京都と好対照な場面であった。

【2P】

双方チャンスを活かしきれない攻撃が続いたが、京都がコーナースローから④渡邊がトップ位置シュートを決めて同点に。福岡のオフense反則から京都が攻めて、ゴール前で⑥木村がよく動いて連続得点。しかし直後の福岡もエース④大野が打点の高いシュートを決めて同点に。ピリオド最後の京都の退水攻撃も予選リーグからよく止めている福岡GK①東が堅守し、同点のまま前半を折り返した(京都3-3福岡)。

【3P】

京都の攻撃ミス(パスミス)を突いて、福岡⑩行武がトップ位置からシュートを決めて福岡リード。しかし再開から京都エースの④渡邊が返して再び同点に。さらに京都は退水攻撃で④渡邊が連続得点して京都がリードを奪う。福岡の攻撃は動きが少なく、そこでのシュートは攻防転換で退水を狙われやすい状態だ。しかし、京都も攻防転換での退水を喫し、福岡はタイムアウトで勝負に出たが失敗。その後、福岡の攻撃圧力が弱くなってしまい、京都に攻め込まれる場面が続いた。京都④渡邊がセンター位置で決めて点差を広げ、徐々に京都ペースの様相を呈してきた。福岡はダブルで退水を奪うもシュートが決まらず、京都6-4福岡で第3ピリオド終了。

【4P】

福岡の攻撃は足が止まってしまい、京都DFに簡単に対応され、そこを起点に退水。そのままに京都⑧宇津木に決められて3点差に広げられた。動きのある攻撃展開に意識が転換できるかどうか。こうなると京都は守備よりも攻撃に意識を傾けることができ、福岡エース④大野を3ファウルにして完全に優勢となった。福岡は最後、完全に攻め手を失ってしまい、京都8-4福岡で京都が第7位となった。

双方、動きを伴う攻撃を意識し、これからの成長を期待したい。